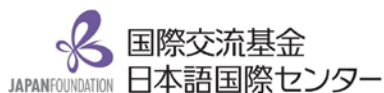


## 会話の教え方

### Unit 1 準備 Part 1 生活の中の「会話」



#### 1. はじめに

あなたは、毎日の生活の中でどんな場面で、どんな人を相手に、どんな目的で、会話をしているでしょうか。会話活動の種類や会話力をどのように考えていますか。

今回の目標: 会話や会話力について知ることです。

このパートのキーワード

会話の目的、カテゴリー、Can-do、<sup>かだいすいこう</sup>課題遂行、会話力、レベル

#### 2. 生活の中の会話例

私たちは、毎日、たくさんの会話をしています。どんな目的で会話しているでしょうか。

生活の中の会話例を見てください。

- ・ 飲食店で料理や飲み物を注文します。
- ・ 友だちと旅行をするために、行き先や日程などについて話し合います。
- ・ 歯が痛くなったので、近所の歯医者はどこがいいか、友だちに聞きます。

- ・ 友だちと一緒に料理を作るとき、細かい手順について友だちに指示をします。
- ・ 職場の会議で新商品について事実確認をしたり、自分の意見を述べたりします。
- ・ インタビューで、新商品開発のきっかけや苦労話をします。

この6つの会話例から分かるように、「会話」とは話し手と聞き手の間の口頭でのやりとりを指します。

あなたの生活の中の会話と同じものがありましたか。

【タスク1】上の例を表に整理してみましょう。

場所	相手	目的
飲食店	店員さん	料理や飲み物を注文すること
どこでも	友だち	旅行の行き先や日程などの話し合い
家の近く	( )	( )
家	友だち	( )
( )	( )	( )
職場	( )	( )

### 3. 「会話力」とは

会話力について、JF 日本語教育スタンダード (JF スタンダード) を使って見てみましょう。

JF スタンドアードは、日本語教育の <sup>もくひょうせってい</sup>目標設定 や <sup>のうりよくひょうか</sup>能力評価 を考えるために作られたツールです。日本語を使って、何がどのようにできるかという「<sup>かだいすいこう</sup>課題遂行能力」を目標の一つにしています。「課題」というのは、会話について言うと、会話をする目的のことです。そこで、「会話力」とは、会話の目的を達成する力だと言えます。

JF 日本語教育スタンダード : <https://www.jfstandard.jp.go.jp>

【タスク2】 A さんの気持ちを考えながら、次の会話例を読んでください。A さんが話を始めた目的はなんでしょう。

会話例:

A: B さん、お休みの日は、どう過ごしていますか。

B: まず、そうじや洗濯をして、それから散歩に出かけることが多いです。

A: そうですか。ところで、日本料理は好きですか。

B: ええ、好きです。てんぷらなどおいしいと思います。

A: カラオケをやったことがありますか。

B: ええ、歌うことが好きなので、カラオケも大好きです。

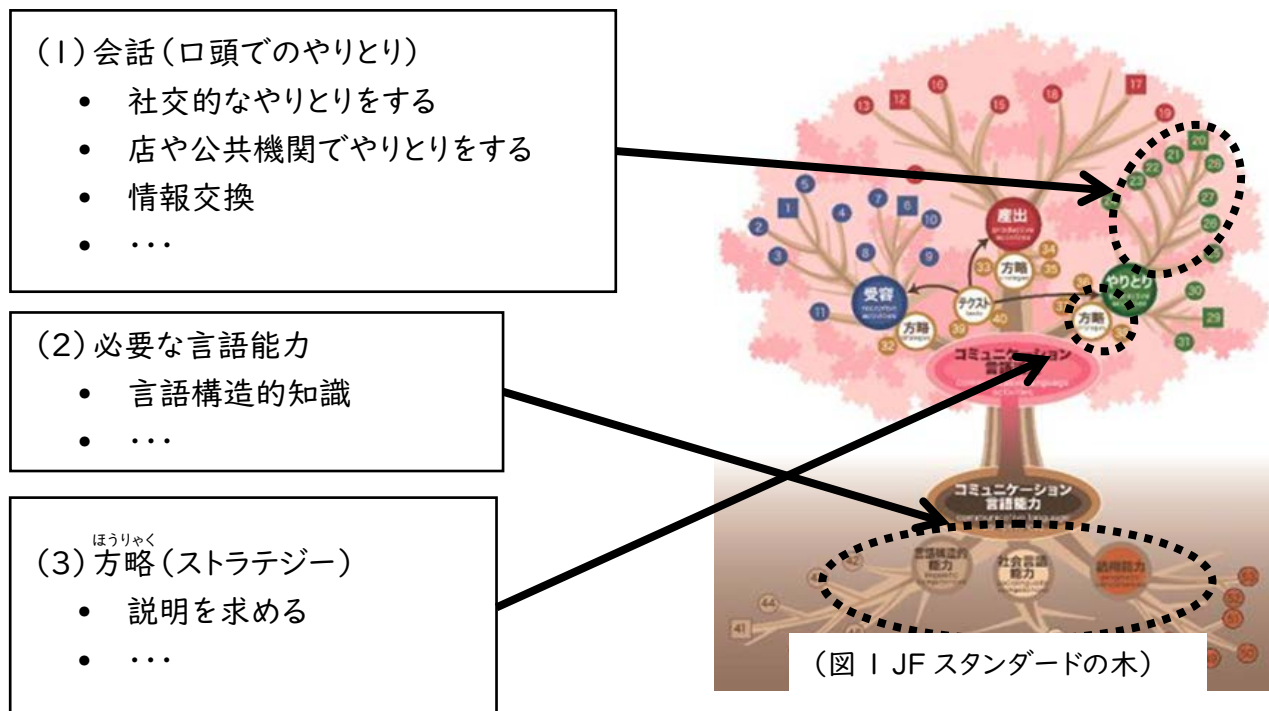
A: じゃ、日曜日に日本人の友人のうちにパーティーがあるんですが、いっしょに行きませんか。カラオケもあるそうですよ。

B: ああ、いいですね。ぜひ。

## 4. 「JF スタンドアードの木」と会話(口頭でのやりとり)

では、会話は、JF スタンドアードではどのように取り扱われているかを見てみましょう。

「JF スタンドアードの木」で見てください(図1)。



まず、木の枝の部分を見てください。緑色の「やりとり」と書いてあるところがあります。JF スタンドアードでは、会話のことを「口頭でのやりとり」と呼んでいます。

緑の「やりとり」の上に緑の番号があります。会話活動のカテゴリー、つまり、会話活動の種類になります。

(表1 会話のカテゴリー)

やりとり	20	口頭でのやりとり全般
	21	母語話者とやりとりをする
	22	社交的なやりとりをする
	23	インフォーマルな場面でやりとりをする
	24	フォーマルな場面で議論をする
	25	共同作業中にやりとりをする
	26	店や公共機関でやりとりをする
	27	情報交換する
28	インタビューする／受ける	

20 番の「口頭でのやりとり全般」から、28 番の「インタビューする/受ける」までです。ほかに、「方略」と書いてある白い○があります。「方略」とは、会話をスムーズに行うの

(表2 方略のカテゴリー)

方略	36	発言権を取る(ターン・テイキング)
	37	議論の展開に協力する
	38	説明を求める

に必要なストラテジーです。36 番から 38 番までです。

会話活動をカテゴリーに分ければ、会話の目的を見るとき、便利になります。

ここで、さきほど挙げた6つの会話例を JF スタンドアードのカテゴリー別に分けてみましょう。

それぞれどれに当たるでしょうか。

- ① 飲食店での注文は、26 の「店や公共機関でやりとりをする」というカテゴリーになります。
- ② 旅行の行き先や日程などについての友だちとの話し合いは、23 の「インフォーマルな場面で議論する」というカテゴリーになります。
- ③ 近所の歯医者者の場所や様子について友だちに聞くのは、27 の「情報交換する」というカテゴリーになります。

- ④ 友だちと一緒に料理を作るときの指示は、25 の「共同作業中にやりとりをする」というカテゴリーになります。
- ⑤ 職場の会議でのディスカッションは、24 の「フォーマルな場面で議論する」というカテゴリーになります。
- ⑥ インタビューは 28 の「インタビューする/受ける」というカテゴリーになります。

答えは下の表の右の数字を見てください。

やりとり	20	口頭でのやりとり全般	
	21	母語話者とやりとりをする	
	22	社交的なやりとりをする	
	23	インフォーマルな場面でやりとりをする	②
	24	フォーマルな場面で議論をする	⑤
	25	共同作業中にやりとりをする	④
	26	店や公共機関でやりとりをする	①
	27	情報交換する	③
	28	インタビューする/受ける	⑥

『JF 日本語教育スタンダード【新版】利用者のためのガイドブック』

<https://www.jfstandard.jp/publicdata/ja/render.do>

【タスク3】 あなたの日常生活の中での会話はどのカテゴリーに分けることができますか。

上の表に当てはまるものがあれば、○を付けてください。

## 5. 会話の目的と「Can-do」

JF スタンドでは、さきほど取り上げたカテゴリーの中に、それぞれ日本語の<sup>じゅくれんど</sup>熟練度を示す「～できる」という形の文、Can-do があります。

JF スタンドにもとづいて作られた「みんなの Can-do サイト」というサイトは、いろいろなカテゴリーの Can-do が入っています。

みんなの Can-do サイト：<https://www.jfstandard.jpf.go.jp/cando/top/ja/render.do>

(\*登録していない場合は、登録する必要があります。)

さきほど生活の中の会話例の一つで、飲食店での注文を「みんなの Can-do サイト」で探しました。

キーワードは「注文」、カテゴリーは「店や公共機関でやりとりをする」です。

出てきたのは7件ありますが、その中の2件を例として出して、比べてみましょう。


一つは「飲食店などで店員に、料理や飲み物などを短い簡単な言葉で注文することができると書いてあります。

もう一つは「飲食店で、サンプルやメニューの写真を指差しながら、料理や飲み物を、「これをください」などと簡単な言葉で注文することができる」と書いてあります。

どちらも飲食店での料理や飲み物の注文ですが、どう違いますか(表4)。

(表4 飲食店での注文の Can-do)

キーワード:「注文」  
 カテゴリー:「店や公共機関でやりとりをする」



**Can-do** 「みんなのCan-doサイト」より

◆ 飲食店などで店員に、料理や飲み物などを短い簡単な言葉で注文することができる。

◆ 飲食店で、サンプルやメニューの写真を指差しながら、料理や飲み物を、「これをください」などと簡単な言葉で注文することができる。

## 6. Can-do の構成とレベル

さきほどの質問に答えるには、Can-do の構成を見る必要があります。

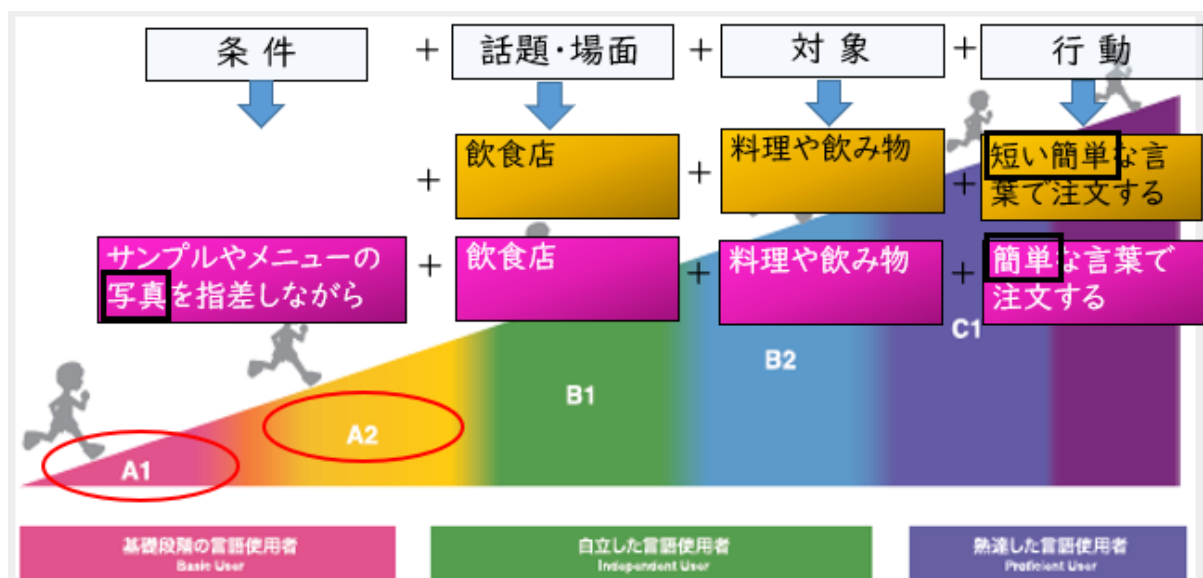
Can-do は、多くの場合、条件、話題・場面、対象、行動という要素が入っています。これにもとづいて、Can-do をよく読めば、各カテゴリーとレベルの記述の特徴が把握しやすくなります。

さきほどの二つの飲食店での注文の Can-do を比べてみましょう(次のページの図2)。

まず、一つ目の Can-do ですが、条件は特にありません。場面は「飲食店」です。対象は「料理や飲み物」です。行動は「短い簡単な言葉で注文する」ことです。

それから、二つ目の Can-do ですが、条件は「サンプルやメニューの写真を指差しながら」です。つまり、言葉だけではまだうまく伝えられないから、写真という補助的な手段が必要だということです。





(図2 Can-do の構成とレベル)

場面は「飲食店」です。対象は「料理や飲み物」です。行動は「簡単な言葉で注文する」とです。

このように、4つの要素の特徴的な表現、たとえば、ここでは、「写真」、「簡単」、「短い簡単」という表現を見ることで、Can-do のレベルを理解することができるのです。

JF スタンドでは、日本語のレベルを6つに分けています。A1 から C2 までです。

この二つの Can-do のレベルですが、どちらが高いでしょうか。

答えは黄色いほうは A2 レベルで、ピンクのほうは A1 レベルです。黄色いほうが高いです。

つぎに、もう少し詳しく比べるために、「みんなの Can-do サイト」を使って、「パーティー」というキーワードと「社交的なやりとりをする」というカテゴリで検索しました。

A1 から B2 まで 9 件ありました。その中からレベルごとに 1 件ずつ取り出しました。同じ

パーティーという場面で、レベルによって、構成要素がどう変わるか見てみましょう(表5)。

(表5 パーティーという場面での Can-do)

B2	同窓会のにぎやかな立食パーティーなどで、 <b>学生時代のことやお互いの近況、共通の友人の噂話など</b> <b>さまざまな話題</b> について <b>長い会話に参加</b> することができる。
B1	パーティーや新しいサークルなどで初めて会った人に <b>話しかけ、趣味や仕事など身近な話題</b> について質問したり、 <b>質問にある程度詳しく答えたりして、会話を続ける</b> ことができる。
A2	パーティーや新しいサークルなどで初めて会った人と、 <b>趣味や暇なとき</b> にすることについて、 <b>短い簡単な言葉で話す</b> ことができる。
A1	パーティーやイベントで初めて会った人に、 <b>名前、出身、仕事などをたずねたり、答えたりする</b> ことができる。

一番下の A1 は、「名前、出身、仕事などをたずねたり、答えたりすることができます。つまり、単語だけで聞いたり、答えたりするようなイメージです。会話も一問一答式です。

一つ上の A2 は、一問一答式ではなく、自分から「短い簡単な言葉で話す」ことができます。そして、話題も「趣味や暇なとき」にすることというように、A1 より増えています。

さらに一つ上の B1 レベルは、進んで「話しかけ」たり、「会話を続け」たりすることができます。しかも質問には「ある程度詳しく」答えることができます。話題も「身近な話題」なら何でも OK になります。

それから B2 は、今度は「学生時代のこと」、「お互いの近況」、「共通の友人の噂話」など、「さまざまな話題」について、しかも「長い会話に参加する」ことができます。

このように、レベルが上になればなるほど、会話の中でできることが多くなるのが分かります。

## 7. まとめ

最後に、まとめてみましょう。

今回の授業では、生活の中の会話例を通して、会話のカテゴリーや目的、会話力とそのレベルについて考えました。

具体的には次のようなことをいっしょに見てきました。

- ◆ 私たちは、生活の中でいろいろな場面で、いろいろな人を相手に、いろいろな目的を持って会話をしています。
- ◆ JF スタンドでは、会話のレベルを 6 つに分けています。
- ◆ 「会話力」とは、会話の目的を達成できる能力、つまり課題遂行能力のことです。
- ◆ 個々の会話の目的は「Can-do」で示すことができます。

以上で今回の勉強を終わりにします。

### ■ このパートの参考文献と参考サイト

- 国際交流基金(2007)『話すことを教える』(国際交流基金 日本語教授法シリーズ6)  
ひつじ書房
- 「JF 日本語教育スタンダード」 <https://www.jfstandard.jp/go.jp>
- 「みんなの Can-do サイト」 <https://www.jfstandard.jp/go.jp/cando/top/ja/render.do>  
(要ログイン)

## ■ タスクの答え

## 【タスク1】

場面	相手	目的
飲食店	店員さん	料理や飲み物を注文すること
どこでも	友だち	旅行の行き先や日程などの話し合い
家の近く	( 友だち )	( 近所の歯医者者の情報を知ること )
家	友だち	( 料理の手順を指示すること )
( 職場の会議 )	( 同僚たち )	( 新商品について事実確認したり、自分の意見を述べたりすること )
職場	( 記者 )	( 新商品開発のきっかけや苦勞を話すこと )

## 【タスク2】

目的は、日本人のうちで行われるパーティーにBさんを誘うことです。ほかに、Bさんについて知りたいという目的もあります。

## 【タスク3】(答えは自由)